

有意義な40日間にしよう！！ ～夏休みの過ごし方を考えよう～

本日で1学期は終わりです。明日から夏季課外が始まりますが、1学期中に比べても使える時間は格段に増えるはず。3年生は、夏休みの時間の使い方が進路実現の成否を分けるといっても過言ではありません！1・2年生も、自由な時間が増えるからこそ、その使い方が2学期以降の自分の成長に大きく関わってきます。「時は金なり」と言いますが、みんなに平等に与えられているものでもあります。休みだと浮かれる前にしっかりと計画を立て、時間を浪費することがないようにしましょう。

① 3年生：進路日程のメインイベントから逆算した計画を立てよう

3年生は、夏休みの三者面談を経て、いよいよ自分の進路目標が明確になってきます。就職組は、求人票が届き始め、就職に向けた日程が固まってきました〔表1〕。進学組は、上級学校の学校案内や入試要項が続々と進路資料室に届いています。また、国公立大学志望組は、大学入学共通テストの概要が明らかにされました〔7月20日の段階で共通テストまであと179日です〕。2次試験もありますが、まずは共通テストをメインイベントと捉え、それに向けた計画を立てましょう。それぞれの目指す進路に向け、夏休みにすべきことの一例を提示します。自分にとって重要な進路イベントから逆算し、必要とされる力がつくように計画を立て、それを着実に実行しましょう。

〔就職希望者〕

〔表1〕 これからの就職日程

夏休み中に必ずやらなければならないことは、

- ① 就職希望先を確定すること
- ② 志望理由を具体的に言語化すること
- ③ 自分の性格などについて自己分析を行うこと

の3つです。就職希望者にとって最初の関門は、8月23日の校内就職選考会です。進路に関わる先生方との面談を通して、志望手続きに入るかどうかが決まります。そして、履歴書などの書類作成に入ります。就職試験には必ず面接試験があります。その際、会社への志望動機や自分の長所や短所について聞かれる

ことがあります。就職試験に役立つだけでなく、就職先とのミスマッチを防ぐ意味でも、しっかりと志望理由や自己分析を固めてから、就職希望先を決定することが大切です。夏休み中に面接ノートを作成し、志望理由や自己分析について自分の考えをまとめておきましょう。

7/1	求人票受付開始
7月下旬～	三者面談
～8月中旬	就職志望先確定
8/23	校内就職選考会
～8月下旬	就職志望関係書類提出
9/16～	就職試験開始

〔進学希望者（総合型選抜・学校推薦型選抜希望者）〕

夏休み中に必ずやらなければならないことは、

- ① 志望理由を具体的に言語化すること
 - ② 過去問などを通して入試傾向を分析すること
 - ③ 志望先の出題傾向に対応した対策をすすめること
- の3つです。

総合型選抜や学校推薦型選抜入試は、進学先で学ぶ内容について、いかに興味関心を持っているかアピールすることが大切です。そのため、面接試験では志望動機が必ず問われます。生半可な志望動機ではすぐに見破られるので、オープンキャンパスでの印象や学校案内などを通して得られた感想、進学後の目標などをもとにして明確な志望動機を考え、それを面接ノートにまとめることで言語化していきましょう。三者面談でもじっくりと将来のことについて担任の先生や保護者と話し合い、「自分だけ」が思い描けるオンリーワンの志望動機を完成させていきましょう。

また、私大や専門学校志望者は、特定の教科や小論文が必要になる場合があります〔看護系専門学校は国・数・英＋小論文、その他の専門学校も作文、小論文が課されることがあります〕。過去問を取り寄せて傾向を分析し、個別添削なども含め、それぞれの進路目標を見据えた学習を進めることが大切です。

〔進学組（国公立大学志望者）〕

夏休み中に必ずやらなければならないことは、

- ① 国数英の基礎・基本を「理解」すること
- ② 希望先の出題傾向を踏まえた学習を始めること
- ③ 受験へ向けた学習サイクルを確立させること

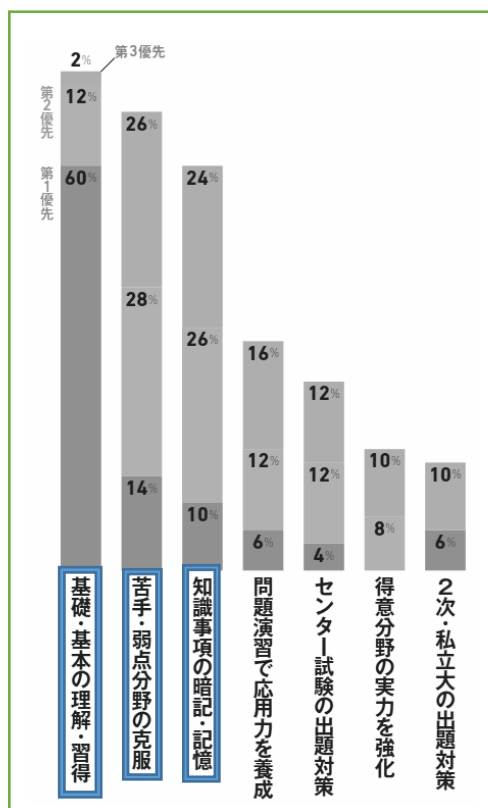
の3つです。

地歴・公民と理科基礎は2学期以降に必ず伸びます。〔表2〕・〔表3〕を見ればわかるように、夏休みは主要三教科である国数英（理系は理科も）から逃げずにしっかりと取り組むことが大切です。その際に気をつけて欲しいのは、記憶しようとする際に「なぜ、覚える必要があるのか」という視点を伴うようにすることです。丸暗記による知識は使えません。例題演習とうまく絡めて学習し、新しい知識を既存の知識と関連付けて整理することが大切です。漫然と問題を「こなす」のではなく、なぜそのようになるのかしっかりと「考えて」問題を解くようにしましょう。

また、三者面談で進路希望も徐々に固まってきます。そこで、希望先の出題傾向を踏まえた学習にも取り組み始めましょう。例えば、大学入学共通テストの教科ごとの点数配分や、共通テストと2次試験の点数配分などから、どの科目が重要となるかがわかるはず。特に2次試験は記述力・応用力が求められる場合が多いので、一度過去問に触れるなどしてどんな形態の問題が出題されるのか確認してもよいでしょう。

最後に、2学期以降は受験勉強も佳境を迎えてきます。毎日の学習で大切なのはルーティーンをつくることです。夏休みは時間もあるので、何時に机に向かい、一度に何時間勉強するのか、2学期以降も継続できる自分なりの時間配分をつくるようにしましょう。

〔表2〕夏休みの受験勉強全体で重視した点



〔表3〕夏休みの受験勉強で重視した教科

【文系】	【理系】
1位 英語・・・76%	1位 数学・・・88%
2位 数学・・・52%	2位 理科・・・56%
2位 地歴・公民・52%	3位 英語・・・40%
4位 国語・・・36%	4位 国語・・・8%
5位 理科・・・8%	5位 地歴・公民・4%

※〔表2・3〕ともに「大学受験パスナビ」より抜粋

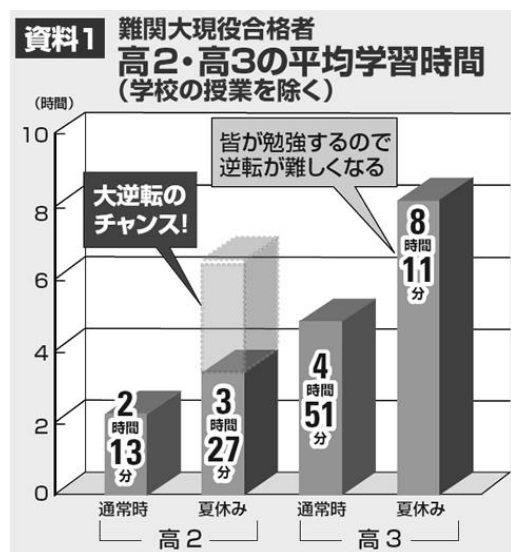
② 1・2年生 ～夏休みは自分の可能性をひろげるチャンスと心得よ～

文理コースの2年生にとって、夏休みは既習部分を固め、2学期以降の学習につなげる大切な期間です。〔資料1〕にもあるように、高校2年生の夏休みで基礎を固めれば、自分より上位の層を逆転することも夢ではありません。夏季休業中の課題を通し、既習事項を「理解」することを目指して学習に取り組みしましょう。

総合コースの2年生は、インターンシップがありますね。社会に出て働く意味を体験することができる貴重な機会です。得られた経験をもとに、将来どのような職業に就きたいか、そのためにはどんな進路選択をする必要があるか考える期間にしましょう。

1年生は、先日の学年PTAでも説明されたコース選択について考え始める時期です。まずは、将来就きたい職業や、取りたい資格、学びたい学問について考えを深め、どのような進路先を選択すれば自分の理想を叶えられるか調べてみましょう。

また、夏休みはたっぷりと時間があります。オープン



※〔資料1〕は東進ハイスクールの東進タイムスより抜粋

キャンパスやボランティア活動などにも積極的に参加し、自分を磨いていってください。